

◆ 主 題 名 (生徒に提示するもの)	私にもできる国際貢献
------------------------	------------

内容項目	見出し	教材名
C - 18	国際理解, 国際貢献	命のトランジットビザ
価値項目	1・2・3・4 国際的視野に立って, 世界の平和と人類の発展に寄与する。	
本時のねらい	・ 人道支援という国際貢献への憧れや, 自分にもできるという期待感をもたせる。	

主題発問に向かうための導入・場面発問		
導 入	発 問	隣の人が困っていたらどうするか。
	補助発問	
場 面 ①	発 問	杉原が「眠れぬ夜を過ごした」のはなぜか。
	補助発問	千畝と幸子が, 苦悩の末にビザ発給を決意したのはなぜか。
場 面 ②	発 問	日本政府はビザを認めていないのに, ユダヤの人々が来日できたのはなぜか。
	補助発問	ビザを持っているだけで, 彼らは助かることができたのだろうか。
場 面 ③	発 問	もしも杉原が外交官でなかったら, ユダヤの人々を前にどうしただろうか。
	補助発問	

◆ 主 題 発 問	杉原たちを駆り立てたのは何だろう。
-----------	-------------------

◆ 学び合い活動	場面発問①	場面発問②	場面発問③	主題発問
	個 ⇨ (ペア ・ グループ ・ フリー) ⇨ 個			

留意点等	・ 杉原千畝は偉人だ。けれど, 「彼のようにになりたい」なんて簡単に言うてはじくないし, 「同じようにはできない」と冷めてもらいたくもない。彼の行為よりも博愛の精神に思いを馳せ, 自分にも何かできるはずだという期待感をもってほしい。いつの日か, その思いが行動に移ればいい。自分自身や家族, 隣人を愛するという態度の延長線上に人道支援や国際貢献がある。助けを求める人の国籍を, いちいち確認することはない。だとすれば, 杉原の行為の本質は「自分の良心に従って, 困っている人々に手を差し伸べた」のであって, それは誰にでもでき得ることだ。「命のビザ」をつないだ根井三郎や小辻節三も, 避難民を温かく迎え入れた敦賀の人々も, 受け入れ国だって同じ思いだったからこそ, ユダヤ人の命は救われたのだ。杉原のみを偉人に仕立てる必要はない。諸外国の人々に対して偏見をもたない誰もが, 国際貢献できるのだと信じてほしい。
------	--